

株式会社 松本製作所

多様な樹脂フィルムの プレス加工品を展開

納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



本社外観

主な事業内容

プレス機を用いた樹脂フィルムの
精密打ち抜き加工など

主な取引先(納入先)

商社、自動車メーカー、
自動車部品メーカー、香料メーカー

主な製品

FC(燃料電池)に用いる
熱可塑性フィルム、アロマシールなど

業務 内容 電子機器、自動車など 数百家の取引先

松本製作所は、プレス機を用いた樹脂フィルムの精密打ち抜き加工を主力とするメーカー。プレス加工後のラミネート・貼り合わせ加工や、折り曲げ加工なども得意としている。

創業は昭和32年。松本庸平社長の祖父が、樹脂板の切削加工メーカーとしてスタートさせた。当初は、主に電子機器部品を製造していた。電子機器の薄型化・小型化の進展に伴って、原材料を樹脂板からフィルムに転換。プレス加工も手がけるようになった。

現在は電子機器だけでなく、ヘルスケア関連や自動車部品などにも用途を広げている。多様な業種と取引を行い、その取引先は数百家に及ぶという。

強み 全工場のラインに クリーンルームを採用

強みは40年以上に及ぶ樹脂フィルム加工の歴史の中で、培われた技術力。「どんな難しい加工にも挑戦できる」と松本社長は胸を張る。試作から量産まで、ワンストップで対応しており、金型・刃型も自社で製作。顧客ニーズに、的確に応えられる体制ができています。

社長あいさつ



代表取締役社長
松本 庸平さん

当社の強みはクリーンルーム採用に象徴される「環境」意識と「技術力」です。この二つをさらに磨くため、人材育成に注力します。社員の意識を高める目的で、毎日開く朝礼では社員自身にスピーチを求めています。また、誰でも同じものが作れるよう、多能工を多く育てる計画です。

主な保有設備

- プレス機(150t)
アマダ製 2台
- プレス機(35~110t)
コマツ製 23台
- プレス機(5~10t)
山田ドビー製 5台
- 定量滴下装置
自社内装設備 2台
- ラミネート機
富士商工製ほか 5台

ISO 9001
ISO 14001

住 所／〒566-0042
摂津市
東別府5-1-40
TEL／06-4862-8883
FAX／06-4862-8884
創 業／昭和32年11月1日
設 立／昭和35年11月1日
資本金／3,000万円
従業員／60名

製品 開発 モットーを胸に新市場や 自社製品開発にも注力

プレス機を30台以上保有し、大量注文にも対応可能で、納期の短縮要請にも応じることができる。このため、トヨタ自動車など大手メーカーからの信頼は厚い。また、同社最大の特徴に、全工場の生産ラインにクリーンルームを採用していることがあげられる。この設備環境が、超微細加工を実現する大きな武器となっている。

今後、大きな伸びが期待できるのが、FCV(燃料電池車)向けの需要だ。FCスタック(燃料電池の発電装置)に用いられる熱可塑性フィルムの製造に、同社の技術を生かせる可能性があるという。また、受注生産品だけでなく、自社開発製品の販売強化を図る方針も掲げる。その一つが「アロマシール」だ。自社技術の定量滴下装置を使い、アロマオイルをシールに染み込ませたもので、マスクなどに貼って香りを楽しめる。同社は二つのモットー、「ひとのために、社会のために」、「不可能を可能に」を大切にしている。そのモットーを現実のものとするため、人材育成にも力を入れる。



小型から大型までオールラウンドで対応するフィルム加工メーカー



全社でクリーンルームを採用

ホームページも充実

<http://www.matsumoto-ss.co.jp/>

